

未来を紡ぐプロジェクト

彫刻家 TAKU NISHIMURA × エスケー鋳産



未来の都市をつくらう

in 愛知県陶磁美術館 つくるところ! 陶芸館

越境するきみの物語

ぼくらの"衣食住"を支える"限りある資源"を生かして
つみき遊びのようにみんなで2つの「未来の都市」をつくらう!



入 場 無 料

開催日時
2026

11/7(土) 8(日)

＼ 時間内出入自由 /
10:00~16:00
※最終日は15:00まで

会場

愛知県陶磁美術館
つくるところ! 陶芸館

主催





未来の都市をつくろう

in 愛知県陶磁美術館 つくるとこ!陶芸館

衣食住にまつわるいろんな素材

やきものの作りの道具、粘土の塊、ガラスの砂、石、布、糸、レンガ、木材etc…が自由に使える!



越境するきみの物語

ぼくらの"衣食住"を支える"限りある資源"を生かして
つみき遊びのようにみんなで2つの「未来の都市」をつくろう!



2つの「未来の都市」

陶芸館内の2つの実習室には
それぞれ違う材料の山が!
中庭を歩いて行ったり来たりできるよ。

[会場] 愛知県陶磁美術館 つくるとこ!陶芸館

[主催]



エスケー鉱産株式会社

Instagram: @skmineral.co.ltd

エスケー鉱産
公式サイト



[共催]

愛知県陶磁美術館

[協賛]

有限会社共和運輸 瀧定株式会社 草野産業株式会社

[協力]

山内陶料株式会社 株式会社西尾クレー 丸仙陶器原料株式会社
三和化学工業株式会社 有限会社白山 東濃硅粉工業株式会社
ソブエクレ株式会社

未来を紡ぐプロジェクト は、エスケー鉱産が取り組む

“限りある資源の未来”と“日本のものづくりの精神”を次世代へ継承するための一連のプロジェクトです。

本イベントでは、TAKU NISHIMURAが当社製品の加工を担う委託先工場（古くから陶磁産業を支えてきた愛知県瀬戸市および岐阜県東濃地域の工場）を訪れ、そこで得たインスピレーションをもとに制作した参加型アートを発表します。

今回は、これまでの『未来の都市をつくろう』でもお馴染みの、解体された焼成窯のレンガや鉱物の粉碎機で使われた玉石などに加え、陶芸館ならではの物や、瀬戸の窯業を舞台裏で支えている道具や廃材も登場します。



予約不要

※小さなお子様に参加される場合は必ず大人の方の付き添いが必要です。
※混雑の状況によっては入場制限を行う可能性があります。
※安全性の観点から参加時の履物はサンダルより靴をお勧めします。

無料で誰でもご参加いただけます!

美術館を探検しよう!



【窯焚き広場】11月6日(金)～8日(日)

連房式登り窯の焼成

薪(まき)を燃料にしてやきものを焼く伝統的な窯焚きを行います。6日(金)午前10時から昼夜を問わず焚き続けます。この期間はいつでも見学可能。1200℃を超える炎の迫力を体感しよう!

※窯の焼き上がり状況により、8日の終了時刻は前後する場合があります。

学芸員さんのおしゃべり

こども向け鑑賞ツアーもあるよ!

【本館・企画展】10月10日(土)～12月20日(日)

夢見る建築 - 中国古代の明器に宿る建築の断片

中国古代の建築明器(墓に副葬されたミニチュア模型)を中心に多様な作品を紹介します。来世への祈りと未来への理想という二つの「夢」を軸に、構造や装飾から建築の魅力を紐解きます。

観覧チケット:「夢見る建築」

一般1,000円、大学生800円、高校生以下無料

▲これ1枚で「デザインあいち」と「本館・愛陶コレクション」もみられる!

【デザインあいち】

やきものはどこから生まれ、どう使われ、どこに向かっていくのか?

愛知・東海のやきものを生み出してきた自然や暮らし、歴史、未来など様々なテーマからやきものを紹介し、やきものの魅力と秘密を紐解く展示施設です。

観覧チケット:「デザインあいち」+「本館・愛陶コレクション」
一般400円、大学生300円、高校生以下無料
※チケットは本館受付で販売しています。



公共交通機関

●リニモ「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
(リニモへは地下鉄東山線「藤が丘」駅または愛知環状鉄道「八草」駅で乗り換え)
●名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝のみ)

自家用車

●駐車場無料:250台、大型バス9台収容

